





形名（Rタイプ）（ 100用）
DVF-G14R8, G14RC8, G14RX8
（Wタイプ）（ 100用）
DVF-G14W8, G14WC8

（FPタイプ）（ 100用）
DVF-G14FP8
（Pタイプ）（ 100用）
DVF-G14P8, G14PC8


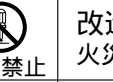

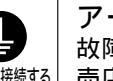

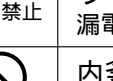
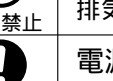
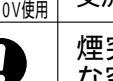


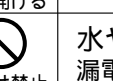
この換気扇の注意事項をよく知っていたき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
この取付説明書は設置完了後、お客様にお渡しください。
システム部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください）



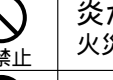

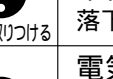
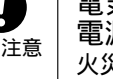
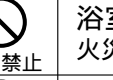
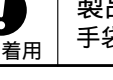
安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよく読みのうえ正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、* 物的損害の発生が想定される内容を示します。
図記号の意味 * 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。	
表 示	図記号の意味
 改造禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

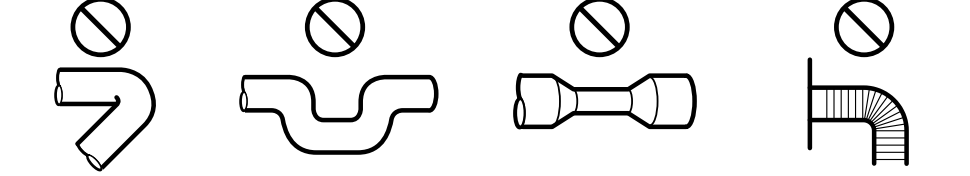
取付設置完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

 警告	
 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人とは分解、修理（ ）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	アースは確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流100V使用	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
 給気を確認に	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据えつけるときは、十分大きな空気取入口を別に付ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 ポリ袋廃棄	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や鼻を塞ぎ、窒息する原因になります。
 窓を開ける	ガス漏れのときは、窓を開けて換気する 電源スイッチを入れたり切ったりすると、ガス爆発の原因になります。
 水かけ禁止	水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により、火災・感電の原因になります。

 注意	
 取付禁止	浴室には壁スイッチを取り付けない 火災・感電の原因になります。
 炎禁止	炎があたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
 確実に取り付ける	強度のある場所に確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。
 確実に取り付ける	本体カバーや部品は確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。
 取付注意	電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 火災の原因になります。
 取付禁止	浴室など湿気の多いところには取り付けない 火災・感電の原因になります。
 手袋着用	製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。

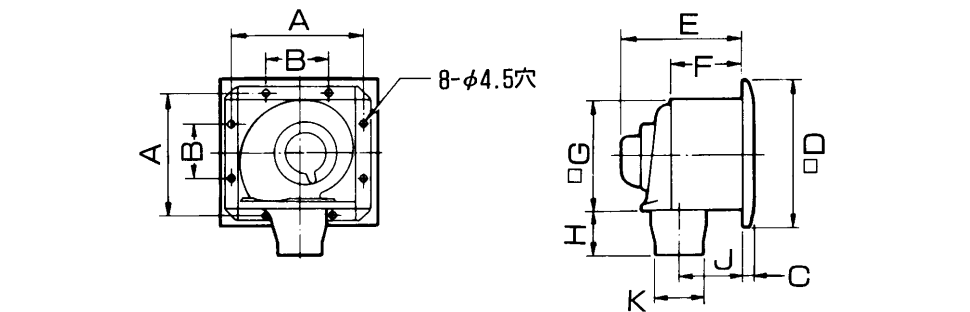
取付上のお願い

次のような場所には取り付けないでください。
1.ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください）
2.浴室など湿気の多い場所
3.腐蝕性ガスの発生する場所
点検口を必ず設けてください。
次のようなダクト工事はしないでください。
（1）極端な曲げ （2）多数回の曲げ （3）接続ダクト径を極端に小さくする （4）排気口のすぐ近くでの曲げ



ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる恐れがあります。
地域によってはジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）
共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。
効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。

製品寸法

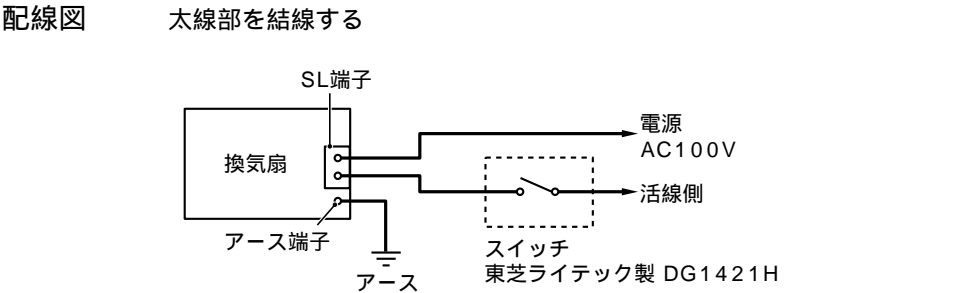
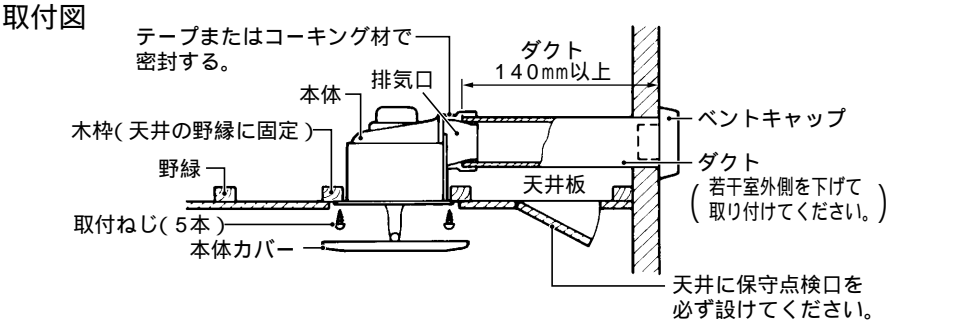


形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	木枠内寸	ダクト呼び径
DVF-G14R8, G14RC8, DVF-G14RX8	242.5	140	12.5	280	198	125	217	82	119.5	98	225	100
DVF-G14W8, G14WC8	242.5	140	23	280	198	125	217	82	119.5	98	225	100
DVF-G14FP8	242.5	140	17	280	198	125	217	82	119.5	98	225	100
DVF-G14P8, G14PC8	242.5	140	53.5	280	198	125	217	82	119.5	98	225	100

付属品の確認をしてください。
取付ねじ5本（本体固定用・排気口固定用）
取付ボルト1本（本体仮固定2用）

取付方法

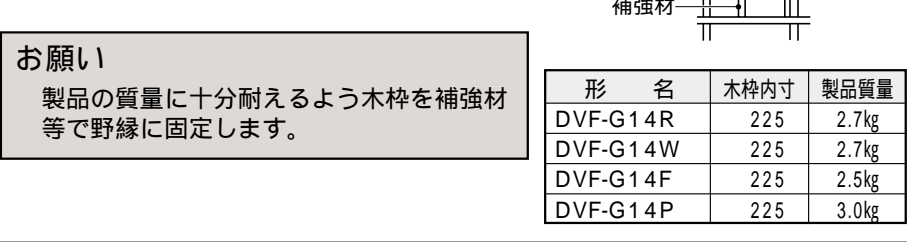
取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
取付時、板金部品の端面で手を滑らせるとけがの原因になります。手袋を着用してください。



A.木枠に取り付けるとき

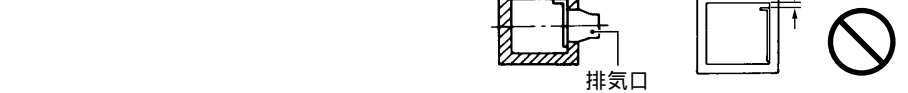
A-1

木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。



A-2

排気口を固定します。
排気口の右フランジ部を木枠のコーナーに合わせ、すき間および傾きがないように付属の取付ねじ（1本）で固定します。

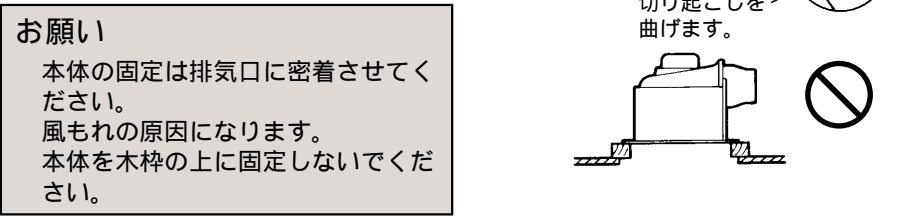


A-3

本体を木枠に固定します。
本体を木枠にはめ込みます。

付属の取付ボルトで仮固定します。
（安全のためそのままにしておいてください。）

取付ねじ（4本）で本体を木枠に固定します。



A-4

電源コードとアース線を接続します。

本体上部のプッシングから電源コード（VVF 1.6、 2）アース線を差し込みます。

カバーのねじをはずし、カバーをあけます。

SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
（電源被ふくは14mmむいてください。）

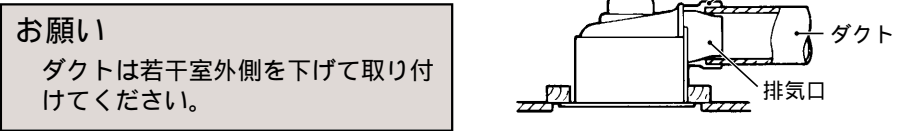
カバーを閉じてねじを締め付けます。

アース端子にアース線を取り付けます。



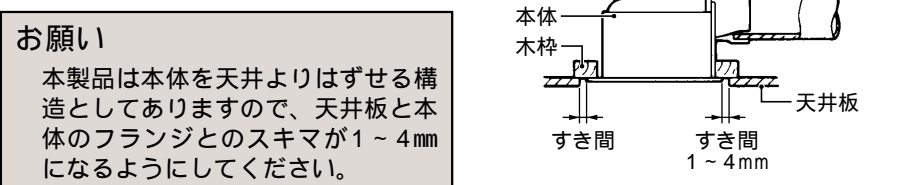
A-5

排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。



A-6

天井板を貼り付けます。

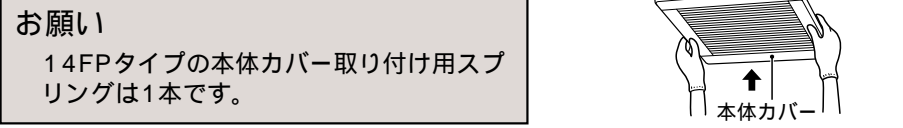


A-7

本体カバーを取り付けます。
本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。

スプリングに引掛金具を引っ掛けます。

本体カバーをそのままゆっくりと押し上げます。



（参考）
本体カバーの方向を90°かえてお使いになれます。
Wタイプについては引掛金具の位置を90°かえて取り付けてください。

Pタイプパネルを天井板に合わせる場合

天井材をパネルと同じ寸法に切断します。
（取り付けられる天井材の厚みは13mm以下です）

グリルBの4すみの締付ねじを取りはずします。

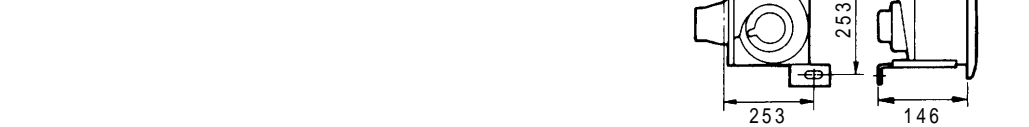
用意した天井材とパネルを入れ換えて取り外しと逆の順序で締付ねじ（4本）にて取り付けてください。

グリルAとの間にすき間がないように、パネルに貼付けてあるクッションを切断して天井板とクッションの厚みが13mmになるよう調整して取り付けてください。
締付ねじはあまり強く締め付けしないでください。

B.吊下金具を使用するとき

B-1

次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。



B-2

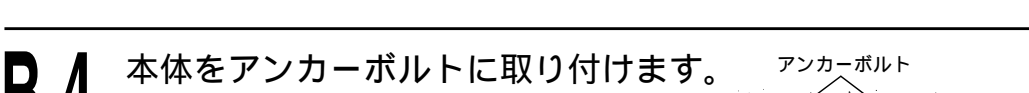
排気口を本体枠に固定します。
排気口の切り起こしを右図のように、ペンチなどで曲げ、本体に固定してください。



B-3

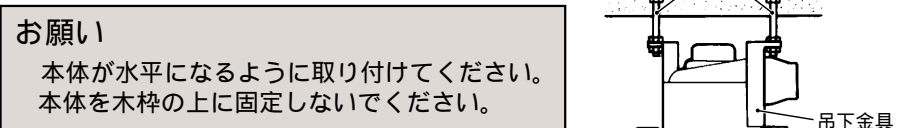
吊下金具はDV-2T（別売部品）を使用します。

本体のハーフカット部をドライバー等で打ち抜きます。（2カ所）
吊下金具の切り起こし部を本体の凸部に引掛けます。
本体内側よりねじ（2本）で確実に固定します。



B-4

本体をアンカーボルトに取り付けます。



B-5

以後の取り付けはA - 4・5・6・7を参照してください。

以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。
製品の取付強度が十分なこと。
運転したとき異常音、異常振動がないこと。
本体カバーが確実に取り付けられていること。